

平成23年度

第25回全国浄化槽技術研究集会

— 浄化槽 水の輪 人の輪 地域の輪 —

開催期間 平成 23 年 10 月 12 日(水)・13 日(木)
開催場所 「土浦市民会館」
「ラ・フォレスト・ディ・マニフィカ」

主 催 財団法人 日本環境整備教育センター

東京都墨田区菊川 2 丁目 23 番 3 号

TEL 03-3635-4880 / FAX 03-3635-4886

URL <http://www.jeces.or.jp>

実 施 要 綱

今世紀は環境の時代、水の時代といわれ、循環型社会の構築に向けた新たな視点からの対応が求められています。なかでも生活排水対策への社会的意識の高まりにより、循環型の生活排水処理施設として浄化槽が注目されています。近年では、快適な生活を送るために欠くことのできない生活基盤施設のひとつとして大きな社会的役割を担っています。

本研究集会は、浄化槽に関する技術の向上と適正な普及促進を図ることを目的に、昭和62年より「浄化槽の日（10月1日）」の関連行事として、毎年開催されています。全国から浄化槽技術研究会会員、大学・研究機関の浄化槽研究者、浄化槽行政担当者、県・市町村の議会議員、浄化槽業界関係者が集い、浄化槽に関する研究発表・事例発表およびシンポジウムなどを通して最新の情報を提供し、意見交換することは、水環境の保全に寄与し、快適な生活環境を創造する一助として期待されています。

なお、研究発表会では、浄化槽技術に関する計画・設計、施工、保守点検、清掃など、日頃の体験、研究等について発表をしていただき、発表された課題のうちから優秀と認められる課題に対し研究奨励金を贈呈することとしています。

開催期間

10月12日（水）～13日（木）・2日間

- 1日目 10月12日（水） 「土浦市民会館」
全国浄化槽技術研究集会 12:30～18:00
- 2日目 10月13日（木） 「ラ・フォレスト・ディ・マニフィカ」
研究発表会 9:30～12:00

開催場所

「土浦市民会館」土浦市東真鍋町2-6
「ラ・フォレスト・ディ・マニフィカ」土浦市東真鍋町1-36（懇親会）

主 催

財団法人日本環境整備教育センター

後 援

環境省／国土交通省／農林水産省／茨城県／土浦市／
「浄化槽の日」実行委員会／全国浄化槽推進市町村協議会

協 賛

社団法人全国浄化槽団体連合会
全国環境整備事業協同組合連合会
日本環境保全協会
全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会
社団法人全国浄化槽団体連合会関東支部
浄化槽指定検査機関関東甲信越ブロック協議会
社団法人茨城県水質保全協会

参 加 者

- 浄化槽検査員研究会
浄化槽検査員等指定検査機関において検査業務に従事する者
- 全国浄化槽技術研究集会・研究発表会
行政機関・研究機関・指定検査機関・浄化槽技術研究会会員・
業界関係者・報道関係者・市民・その他関係者

参 加 費

無 料（ただし、講演要旨集をお求めの場合は、資料代として
1冊3,000円（消費税込）を頂きます）

併 催 行 事

- 第33回浄化槽行政担当者研究会（10月12日）
- 2011 浄化槽展（10月12日）

実施プログラム (案)

全国浄化槽技術研究集会

10月12日 (水)

I 式 典 12:30 ~ 13:20

1. 主催者挨拶

財団法人日本環境整備教育センター 理事長

入 山 文 郎

2. 来賓挨拶

環 境 大 臣

江 田 五 月

農林水産大臣

鹿 野 道 彦

茨城県知事

橋 本 昌

土 浦 市 長

中 川 清

社団法人茨城県水質保全協会 理事長

安 斉 猛 男

3. 浄化槽関係事業功労者 廃棄物・リサイクル対策部長表彰贈呈

4. 浄化槽研究奨励・楠本賞贈呈

5. 財団法人日本環境整備教育センター理事長感謝状贈呈

II 特 別 講 演 13:30 ~ 14:30

テーマ「東日本大震災から得られた教訓と

今後の汚水処理システムのあり方について」

東京大学 環境安全研究センター 教授 山 本 和 夫

III 行 政 報 告 14:40 ~ 16:20

1. 環 境 省 環境省 大臣官房廃棄物・リサイクル対策部

廃棄物対策課浄化槽推進室

2. 環 境 省 環境省 水・大気環境局水環境課

3. 国土交通省 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部

下水道事業課

4. 農林水産省 農林水産省 農村振興局整備部農村整備官付

5. 内 閣 府 内閣府 地域活性化推進室

IV 情 報 16:30 ~ 17:45

テーマ「東日本大震災における浄化槽等の被害状況報告と課題の整理」

《演者》

1. 社団法人岩手県浄化槽協会
2. 公益社団法人宮城県生活環境事業協会
3. 社団法人福島県浄化槽協会
4. 社団法人茨城県水質保全協会

V 次回開催地挨拶 17:45 ~ 17:55

社団法人岩手県浄化槽協会 会長 関 根 信

VI 閉 会 17:55 ~ 18:00

財団法人日本環境整備教育センター 常任理事 大 西 建 郎

懇 親 会 18:30 ~

研究発表会 10月13日(木)

研究発表 A会場 9:30 ~ 12:00

研究発表1 9:30 ~ 10:30

座長：富士常葉大学 社会環境学部 社会環境学科 教授 小川 浩

1. 「二次検査導入による水質改善について」

社団法人岩手県浄化槽協会 岩手県浄化槽検査センター 伊藤 秀 樹

2. 「小型合併処理浄化槽におけるBODの経月変化」

社団法人茨城県水質保全協会 伊藤 聡

3. 「中予地区における一括契約（保守点検・清掃・法定検査）実施の
取り組み状況について」

中予浄化槽管理協同組合 青年部 伊藤 光 康

4. 「浄化槽法第11条に基づく定期検査の受検率向上への取り組みについて」

公益社団法人広島県環境保全センター 小出 洋 大

研究発表2 10:45 ~ 12:00

座長：早稲田大学理工学術院 先進理工学部 教授 常田 聡

1. 「DPD法による残留塩素測定時の異常発色についての検討」

財団法人群馬県環境検査事業団 中村 亜 美

2. 「小型浄化槽における微生物についての調査」

一般財団法人高知県環境検査センター 津田 隆 太

3. 「NH₄-Nの簡易測定を検証と寒冷地における低酸素社会対応型浄化槽の評価」

社団法人山形県水質保全協会 高橋 義 隆

4. 「アンモニア測定における簡便・迅速な測定技術の開発」

セントラル科学株式会社 安倍 英 雄

5. 「新全日対応自動BOD測定システムの導入と効果について」

公益財団法人鹿児島県環境検査センター 濱田 恭 暢

研究発表 B会場 9:30 ~ 12:00

研究発表3 9:30 ~ 10:30

座長：北里大学 医療衛生学部 健康科学科 講師 伊 与 亨

1. 「補修事例からみた残存汚泥に起因する一次処理装置の破損について」
社団法人福島県浄化槽協会 浄化槽法定検査委員会 棚 木 康 仁
2. 「浄化槽設置状況の実態調査とその経過について」
財団法人福岡県浄化槽協会 角 井 千佐子
3. 「浄化槽フォーラム地域協議会の活動」
川にやさしい浄化槽フォーラム埼玉 大 石 昌 男
4. 「単独浄化槽の合併化に関する基礎的研究」
クボタ環境サービス株式会社 奥 野 誠

研究発表4 10:45 ~ 12:00

座長：神奈川県環境科学センター 調査研究部 地域環境担当リガー 田 所 正 晴

1. 「実稼動状況下における戸別合併処理浄化槽処理水中の医薬品存在実態と改善方策の解明」
愛媛大学 農学部 治 多 伸 介
2. 「処理水を全量利用した水田稲作 10年連用実績」
玉川大学 農学部 生命化学科 小 川 人 士
3. 「浄化槽におけるCH₄、N₂Oの排出特性と嫌気・好気循環運転による排出量の削減」
独立行政法人国立環境研究所 蛭 江 美 孝
4. 「北浦における底泥の脱窒活性の分布について」
茨城県霞ヶ浦環境科学センター 北 村 立 実
5. 「霞ヶ浦の水質の現状について」
茨城県霞ヶ浦環境科学センター 広 瀬 浩 二